

平成 29 年 9 月 29 日
株式会社幹細胞 & デバイス研究所
<http://scad-kyoto.com/>

iPS細胞由来心筋細胞に関する技術開発に対する助成金に関して

当社は、京都府の公益財団法人である「京都産業21」が実施する「京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業<Ⅱ 試作・開発>」の交付先に採択されましたので、お知らせいたします。

京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業は、京都経済の次代を担う新産業・新事業を創出することにより、地域経済の活性化を図るため、製品化に向けた本格的な研究開発を行うグループに対して、研究開発の段階に応じた適切な支援を行うとともに、可能性試験、試作品開発、生産技術開発、設備投資段階など事業化までの複数年にわたり、一貫した伴走支援を行う支援制度です。

当社は、iPS細胞から製造する心筋細胞に関する技術開発と実用化検証等を目的とした提案を京都産業21に提案しておりましたが、このたび、当社の事業計画が採択されました。今後、当社では、iPS細胞由来の心筋細胞を用いた細胞デバイスの開発及び製造の体制を強化いたします。また、事業規模の拡大によって新たな雇用を創出し、地域社会にも貢献してまいりたいと考えております。

当社は今後も技術の開発と改良に努め、実用化へ向けた事業化展開を推進することで、「幹細胞がもたらす健康社会の実現」に向けた貢献を進めてまいります。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【株式会社幹細胞&デバイス研究所(SCAD)について】

株式会社幹細胞 & デバイス研究所 (Stem Cell & Device Laboratory, Inc. 略称 SCAD) は、多能性幹細胞関連技術とナノテクノロジー／マイクロエンジニアリングに強みを持つ京都大学発のベンチャー企業です。

当社は、京都大学物質・細胞統合システム拠点 (iCeMS) の設立拠点長である中辻憲夫名誉教授らの研究成果を活用する企業として 2014 年に設立されました。設立後に当社が独自に開発した改良技術を加えて、心筋等の細胞デバイスの開発・製造・販売を行っています。緻密に配向制御したナノファイバー上で培養することで多数の細胞を一方向に配列させ、実際の生体内組織に類似した三次元多層構造を自律的に形成させることができます。この当社のコア技術により作製される各種細胞デバイスは高い成熟性と機能性を有することが示されております。

当社は先進的な細胞製品とそれを用いた評価系の提供を通じて、世界中の病気で苦しむ人々に一刻でも早く新薬を送り届けられるように、創業プロセスの高度化と効率化に貢献することを使命として、技術開発と事業化に取り組んでいます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社幹細胞 & デバイス研究所 管理部門 千秋
TEL: 075-744-1114; E-mail: scad.info@scad-kyoto.com